



昭和大学歯学部  
昭和大学歯科病院

## 創設30周年



発行責任者  
編集責任者

病院長 川和忠治  
広報副委員長 山本松男  
本号編集担当 七田俊晴

〒145-8515

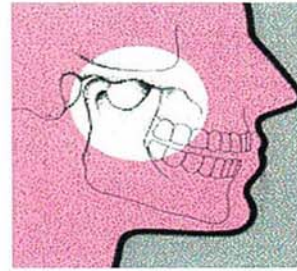
東京都大田区北千束 2-1-1 03-3787-1151

TEL  
<http://www.senzoku.showa-u.ac.jp/>

## 昭和大学歯科病院顎関節症科のご紹介

顎関節症科科長 古屋 良一

平成16年9月から顎関節症専門外来が発足致しました。口が開かない、開きにくい、口を開こうとすると痛い、音がする、このような症状のある方は当科へお気軽にご相談ください。そもそも顎関節症とはどんな病気？



そういえば最近口を開いたり閉じたりする時にかくかくと音がする、耳の付け根のあたりが痛い、りんごをまるごと食べるのに口が開かなくて困った、というようなことはありませんか？思い当たることが1つでもあれば、あなたは顎関節症かもしれません。

顎関節症は顎を動かす関節になんらかの異常がおきたためにさまざまな症状が生じます。以下にそれらの症状を挙げます。

1. あごを動かすと音がする
2. 口を開いたり閉じたり左右に動かすと痛い
3. 口を大きく開けることができない
4. ほほの辺りやこめかみの付近がだるい
5. 思い当たる原因がないのに首、肩のこりがひどい
6. かみ合わせが変わった

### スタッフ

教授 古屋 良一 (歯科補綴 兼任)  
講師 船登 雅彦 (歯科補綴 兼任)  
講師 片岡 竜太 (口腔外科 兼任)  
医員 阿部 有吾 (歯科補綴 兼任)

このような症状を自覚したら早い時期に相談されることをお勧めします。  
ご相談は歯科病院3F 顎関節症科にて受け付けます。

## お口の健康コラム (口内炎について)

口腔外科学教授 新谷 悟

「口内炎」とは口腔内の粘膜(舌、歯ぐき、唇や頬の内側など)に起きた炎症性疾患の総称をさします。

口腔内は、歯以外の部分が粘膜におおわれ、食物の咀嚼、消化、嚥下などの食事に関わる働き、味覚のように食欲にかかわる働き、会話にかかわる働きを持っています。また、唾液の分泌は、口の中を湿らせ咀嚼を容易にし、味覚を助け、食物を飲み込みやすくし、口の中を清潔にする働きがあります。「口内炎」が出来るとこれらたくさんの働きが障害されることとなります。



「口内炎」の原因は歯ブラシがぶつかったり、義歯があたったり、誤って咬んでしまったりするなどの機械的な刺激や、ウイルス・かび・細菌の感染、金属アレルギー、口腔清掃不



良、口腔乾燥など口の中の原因によって起きる場合と、ビタミン（ビタミンB2、ビタミンC）や鉄分の不足などによる栄養障害、自己免疫異常の病気、薬物アレルギー、胃腸障害など全身的な原因によって起きる場合があります。また特殊な例ですが頭頸部領域の癌の治療で、放射線療法や化学療法による口腔乾燥や免疫能の低下、直接的な熱損傷などが原因となることもあります。

「口内炎」の予防は、日頃から口腔内を清潔に保つために歯磨きやうがいを習慣づけることと、適切な歯ブラシを用いた正しいブラッシング法を身につけたり、虫歯があれば早期に治療し、入れ歯があわないときは早めに調節して、口腔粘膜を損傷するような機械的刺激を出来る限り少なくすること、栄養バランスの良い食事を心がけ、過労や睡眠不足にならないように注意し、全身の健康状態にも注意することなどが重要です。

## 昭和大学歯科病院にて救命蘇生の講習会開催される（麻酔科 五島衣子）

AED（自動診断式除細動器）は自宅、学校、職場、たくさんの人が集まる公共の施設など様々な場所に設置されるようになってきました。AEDを使うことで、突然死を防ぐことができます。

歯科病院には1階総合内科と3階歯科補綴科の受付にAEDが設置されています。また当病院では、院内での救急対応として、平成18年2月より救急救命講習会を開始しました。講習会では成人の心肺蘇生法とAEDの使用法、院内緊急時の対応についての実習を、毎月1回12名、歯科病院で行っています。



9月20,26日に「院内勤務者のための救命救急講習会」が開催されました。これまでに8回開催し、歯科病院と旗の台勤務者94名が受講したことになります。

今後も受講内容を検討し、安心のできるより良い病院づくりのために役立てていきたいと考えています。

## 昭和大学歯科病院によせられた患者さまの声

ご意見

「1階と地下1階の売店を1ヶ所にまとめて下さい。」

回答

「販売する品物の中に、一部医薬品が含まれております。医薬品販売許可は設備、場所等細かな規制があり、地下1階売店での販売許可となっております。なにぶんスペースが狭く大変ご不便をお掛けしておりますが、今後とも宜しくお願い致します。」

## 報道された歯科

東京新聞 掲載日平成18年9月22日 「透明マウスピースで歯の矯正治療」  
米国で開発された透明マウスピースによる矯正システムを先行導入している機関として、昭和大学歯学部矯正歯科の榎教授のコメントが掲載されました。